

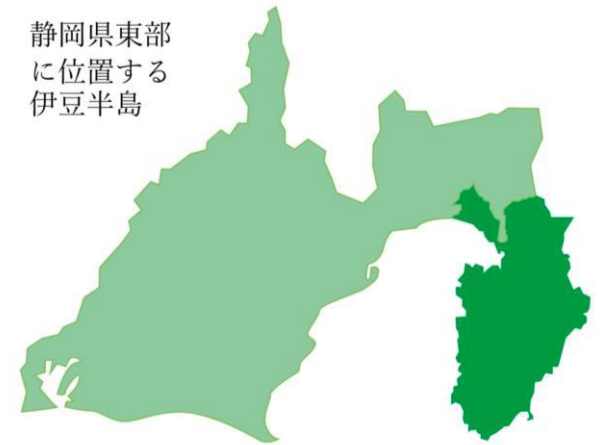
# 伊豆半島サイクルプロジェクト

静岡大学 伊豆半島の地域づくりとジオパーク

# 地域概要

伊豆半島は静岡県東部に位置する火山によって形作られた半島です。漁業が盛んな伊東や西伊豆、温泉観光地である修善寺や熱海などがあり、2018年4月には伊豆半島内の15市町による取り組みがユネスコ世界ジオパークに認定されました。ジオパークとは、地形や地質、またそこに根付く文化や伝統を保全し活用していく場です。伊豆半島ジオパークは、現在もプレートの動きによって地殻変動を続けており、火山や地震による様々な資源が見られます。

静岡県東部に  
位置する  
伊豆半島



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちフィールドワークメンバーは  
持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 伊豆半島の現状と課題

伊豆半島地域は、首都圏に近接する日本でも有数の温泉観光地として発展してきました。しかし、コロナ禍による急激な旅行需要の低下により、宿泊・観光産業を中心にかつてない厳しい状況に直面しています。観光再生を目指して、特色ある自然景観、温泉、歴史・文化、豊かな食材等の地域資源の魅力の向上・発信に取り組む必要があります。特に伊豆中南部地域においては若者の転出による深刻な人口減少や急速な高齢化が課題となっており、魅力的な雇用の場の創出や、郷土愛の醸成に向けた地域総がかりの取組を進めていくことが求められています。そんな中、近年の伊豆半島の地域的な取り組みの1つとして注目されるのが…

**オリンピック・パラリンピックレガシーを継承した施策**

# 伊豆半島の現状と課題

伊豆は、2020年に開催された東京オリンピック・パラリンピックで自転車競技の会場として使用されました。近年、伊豆半島ではサイクリングルートの開発やサイクリストの聖地を目指す取り組みに力を入れています。

## 伊豆半島一周サイクリングルート

- 太平洋岸自転車道の一部として、矢羽根型路面表示の設置により自転車走行空間の整備を行い、全延長の整備が完了しました。
- 伊豆地域では、東京2020オリンピック・パラリンピック自転車競技の開催決定を契機に、バイクピットの整備、レンタサイクル、サイクルイベントをはじめ、官民を挙げてサイクルツーリズムの取組が活性化しています。

### 快適で安全安心にサイクリングができる環境の整備

#### ○自転車走行空間の整備

- ・矢羽根型路面表示の設置
- ・自転車ピクトグラムの設置
- ・注意喚起看板の設置(トンネル、急勾配)



#### ○ルート案内サインの整備

- ・統一コンセプトに基づき、案内標識を設置
- ・路面表示の設置

(矢羽根型路面表示設置箇所)の走行状況

(路面表示)

(ピクトグラム)

### サイクルツーリズム推進のための取組

- バイクピットとサイクリストウェルカムの宿の認定
- レンタサイクルやシェアサイクル(e-BIKE含む)の促進
- 「ガイドライド」や「e-BIKE試乗会」等のイベント開催
- 鉄道、バスや船等へ自転車を積み込むモータリミックス拡大
- 情報発信(ホームページ、SNS、サイクリングマップ等)
- 伊豆e-BIKE充電ネットワークの構築



出典：伊豆市 観光情報サイト バイクピットの例



出典：伊豆の国市 e-BIKEもレンタル可能(道の駅)

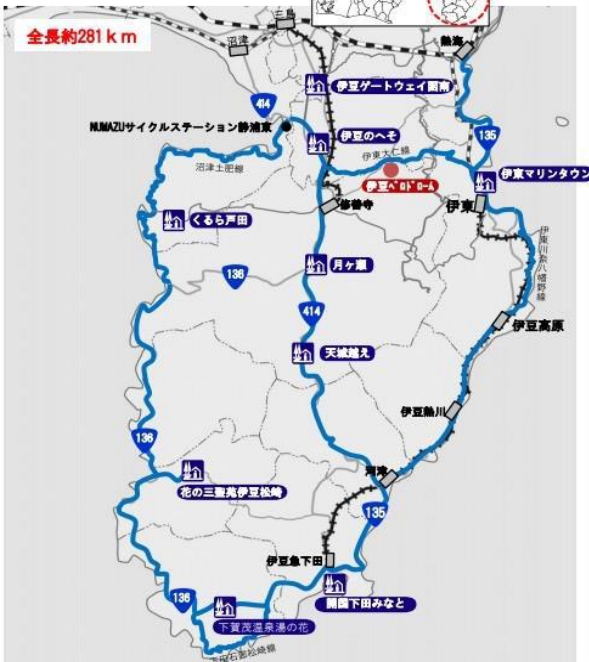


出典：コナステイ伊豆長岡 室内に自転車を持ち込める宿泊施設



バスや鉄道、船等との連携

自転車走行空間整備状況  
全延長整備済み(矢羽根型路面表示)



## 自転車競技の選手が満喫する場所「伊豆」

### サイクリングでも観光でも楽しめる伊豆 —橋本英也選手 (TEAM BRIDGESTONE Cycling)

TEAM BRIDGESTONE Cyclingに所属し、東京2020オリンピック自転車競技トラック男子オムニアムに出場した橋本英也選手に、普段練習でも走っているサイクリストに人気の「伊豆いち」(の一部)を紹介してもらいました。(※「伊豆いち」…伊豆半島一周)



下田のペリロードで記念撮影♪

今回紹介するルートは、伊東市のマウンテンを出発して南伊豆方面へ、とことどころ名所に立ち寄りながら、伊豆市の恋人峠に到着するルート。自転車競技の選手の脚力と体力に驚くとともに、伊豆の美しさを再確認できました。計10カ所に立ち寄ってくださった橋本選手のサービス精神には本当に感謝です！  
全体は「東部地域×スポーツ」企画で紹介中。伊豆は、自転車でも車でも、楽しめます。

### 静岡県東部地域の暮らしインタビュー公開中 —橋本英也選手 (TEAM BRIDGESTONE Cycling)

橋本選手には、「伊豆いち」だけではなく、東部地域の魅力も聞かせてもらいました。「伊豆いち」のレポートでも追加見ることができそうですが、とにかく「静岡県東部・伊豆を誇りましょう！」感が伝わってきました。東部・伊豆地域の色々な場所を訪れ満喫していて、自慢情報も多数。自転車で走りながら、海などの自然、ジオパークを見ることが好きとのことでした。

伊豆をサイクリングやドライブしていたら、橋本選手に会える確率は高そうですね。是非、皆さんサイクリングしましょう。

城ヶ崎海岸 門前つり橋(伊東市)にて

### —沢田時選手 (TEAM BRIDGESTONE Cycling)



同じく、TEAM BRIDGESTONE Cyclingに所属し、マウンテンバイク・クロスカンントリー全日本選手権(2021年)優勝の沢田時選手への移住インタビューを行いました。

沢田選手は、静岡県東部に引っ越して約半年。静岡県での発見と開拓の日々を教えてくださいました。「富士山は毎日見えるものではないんです」という発言には、元々住んでいる私たちも「そういえば!」と再認識することもありました。

沢田選手から、東部地域は、自転車環境としては「ツツチりのお墨付きをいただきました。富士山や海の幸、伊豆の味を満喫しているようです。オススメの場所もお聞きしました。

# 目的

私たちは、このオリンピック・パラリンピックレガシーを継承した自転車に関する取り組みに着目しました。そして、地域の観光資源と連携したサイクルツーリズム、交流人口拡大による「賑わいの創出」を通じた持続可能な地域社会の実現を目指して活動してきました。

## ①e-bike



## ②おもしろ自転車



## 伊豆ベロドローム

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちフィールドワークメンバーは  
持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

# 具体的施策

①スルガ銀行×静岡大学  
共同サイクリングイベント第1弾



②スルガ銀行×静岡大学  
共同サイクリングイベント第2弾



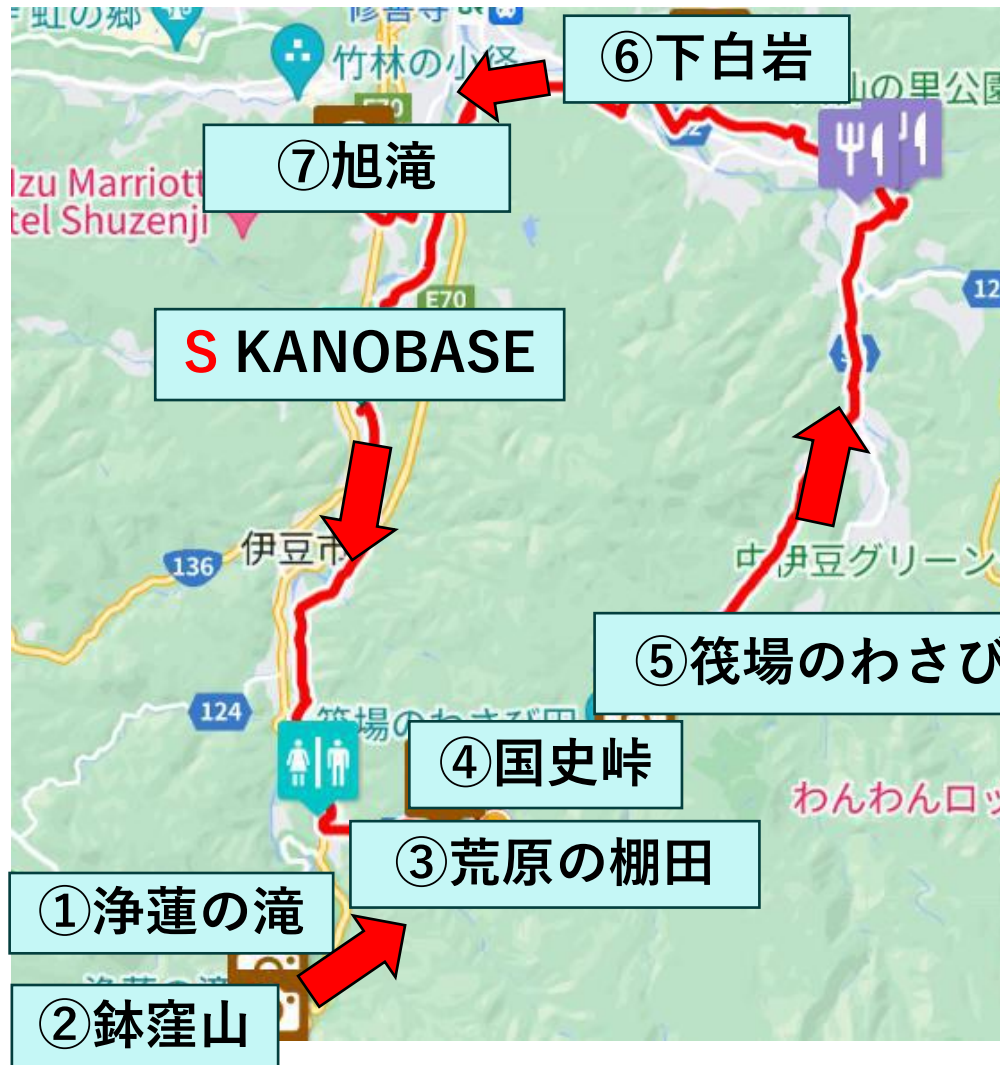
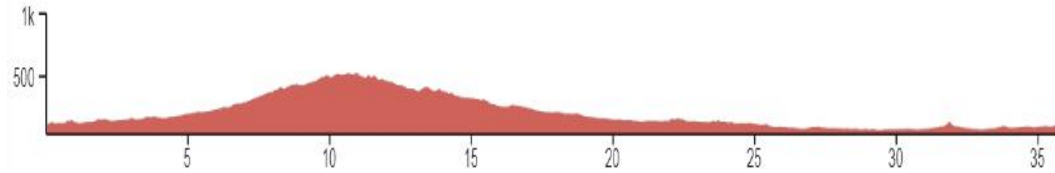
③おもしろ自転車イベント  
inふらっと月ヶ瀬



伊豆の自然とジオパークのサステナビリティツーリズムを土台として、E-bikeを用いたツーリング・ツアーを計2回、企画・実施しました。また、「おもしろ自転車」という遊戯自転車を用いて、福祉総合施設である「ふらっと月ヶ瀬」における保育園児、障がい者、高齢者が一緒になって自転車を介して交流するイベントを行いました。

# E-bikeイベントについて

ーサイクリングコースー



# E-bikeイベントについて

ーイベント運営での意識ー

## ◎ SDGsが意識された取り組み

### ・ 地元企業と大学生の連携



スルガ銀行と静岡大学が共同でイベントを企画・運営しました

### ・ 電動自転車の活用



電動自転車は二酸化炭素を排出しません

### ・ 地形を活かしたルートを作成



伊豆半島の山がちな地形、豊かな自然の魅力を堪能できるルートを作成しました



学生がわさび田をガイドする様子

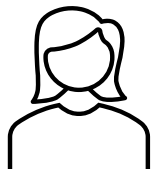


学生が伊豆半島の成因を説明する様子



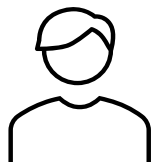
# E-bikeイベントについて

—アンケート調査の結果—



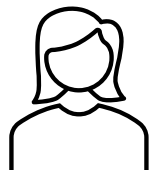
普段からイベントに参加しており、ジオパーク巡りに魅力を感じ、Twitterで見つけた。

「ゆるキャン△」で「ジオパーク」という名前は知っていたが、詳しくは知らなかった。「柱状節理」が一番印象的だった。(神奈川県からの参加者)



スルガ銀行のイベントの中からジオパークめぐりに巡りにたどり着き、参加した。

五感を使って楽しむことが出来た。自転車で峠を上る際は本来、下ばかり見てしまうが、上っているときにも景色を楽しめた。(東京都からの参加者)



「ジオパークをe-bikeで回りたい」と思っており、調べた時にこのイベントを発見。

学生がガイドすることが新鮮であった。手作りのパネルを使用していて、練られた説明だった。(秋田県からの参加者)

# おもしろ自転車とは

---

有限会社オートクラフト・IZUが製造している遊戯自転車。製造する自転車は多種多様であり、老若男女・障害の有無を問わず、誰もが楽しむことができる。



動物をモチーフにした自転車



複数人用自転車



車椅子用自転車

# おもしろ自転車イベントについて

ーイベント概要ー

## ◎ SDGsが意識された取り組み

### ・ 地元企業と大学生の連携



オートクラフトIZUさんと静岡大学が共同でイベントを企画・運営しました

### ・ おもしろ自転車の活用



多種多様な「おもしろ自転車」を活用し、年齢・障害の有無を問わず、楽しむことができるイベントを開催しました

### ・ 世代間交流による地域活性化



対象者の年齢を幅広く設定することで、世代間のコミュニケーション機会を創出しました



大学生によるイベント運営



やぶさめりレーの様子

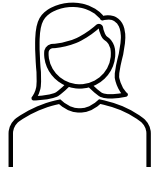
# おもしろ自転車イベントについて

—アンケート調査の結果—



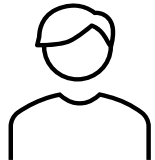
子ども達(認定こども園からの参加者)

いろいろな自転車に乗れて楽しかった。水鉄砲が楽しかった。また、イベントをやってほしい。



女性(障がい者施設からの参加者)

普段関わることのない人と関わることができて楽しかった。またイベントをやってほしい。



男性(障がい者施設からの参加者)

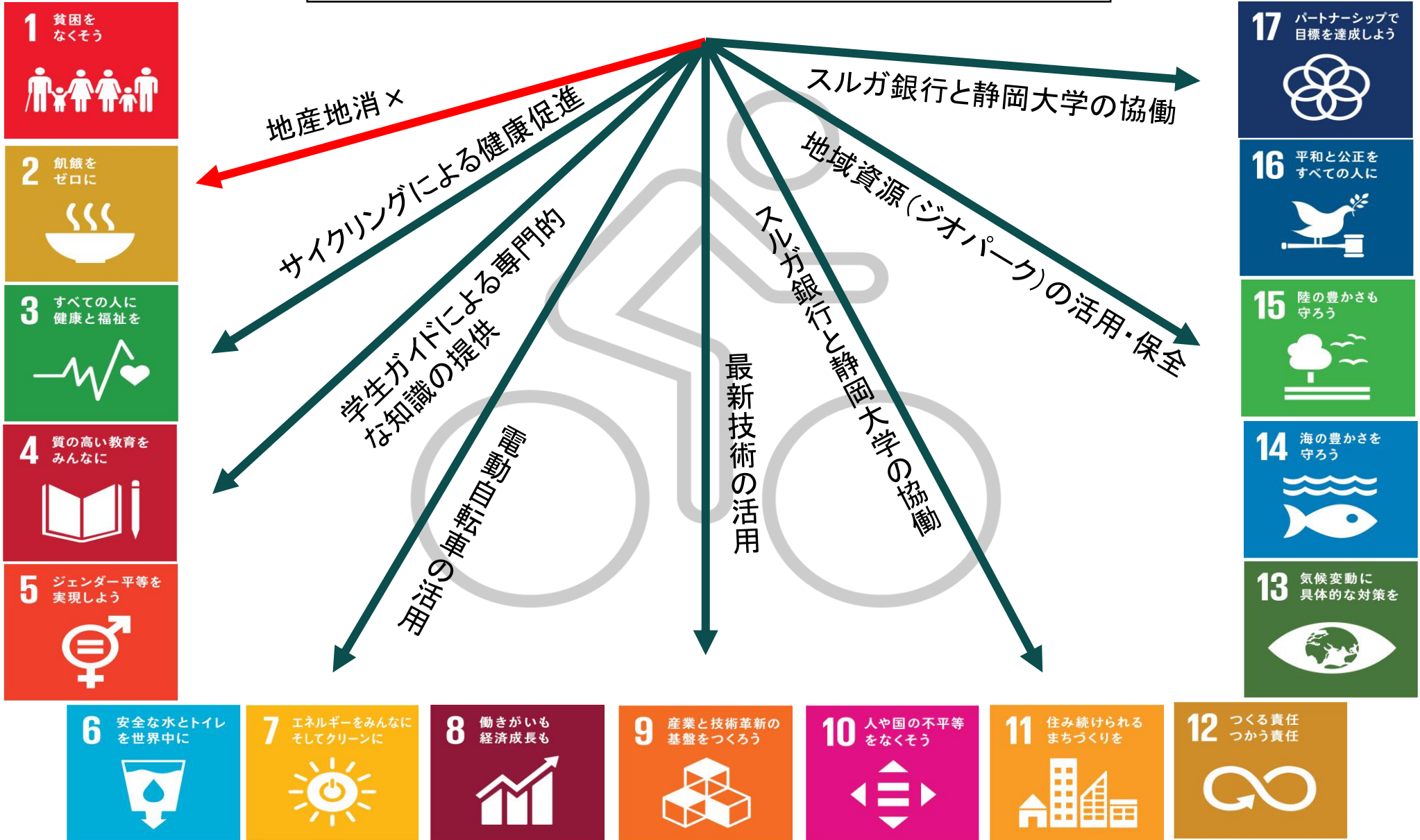
多種多様な自転車を見ること、子どもと交流することが楽しかった。自転車の種類を増やして再度実施してほしい。

# まとめ・今後の展望

---

私たちは、今回実施したイベントで、伊豆半島の地域資源、魅力ある自転車、大学生の専門性を活かし、SDGs達成のためのアプローチをしました。そして、イベントを通じて、人と自然、人と人のつながりを創出できました。また、アンケート結果から「またイベントを開催してほしい」という声を多くいただき、今後はこのような事業やSDGsに関する知識を後輩へ引き継いでいくことで、持続可能な取り組みとして継続していきたいと考えます。地域の人々・観光客・大学生が自転車をツールとして何度も交流し、地域を訪問するといった「循環＝サイクル」を、様々な分野の人々が協働することで両輪となって、地域活性化を目指します。

# ①スルガ銀行 × 静岡大学共同サイクリングイベント



## ②おもしろ自転車イベントinふらっと月ヶ瀬

